

DREAMING No.20

令和7年3月12日
長崎市立福田小学校
学校だより
校長 寺田 成広

心を満たし、夢や願いを叶える学校 ~見つめよう 認めよう~

卒業証書授与式まであと6日となって

70名の子どもたちが巣立つ第71回卒業証書授与式が目前に迫ってきました。ここまでに、合同練習に2時間、6年学年練習に1時間参加しました。

合同練習日は7日(金)が最初でしたが、その時間から卒業学年6年生はもとより、代表として参加する5年生も式に臨む心構えができており、態度に表れていました。初めてとは思えないほどに、良い姿勢や約束事の動きができていました。大きな流れや動きは十分にできていますので、後は細部のタイミング等を確認すれば本番はすばらしい姿になるでしょう。

明日の卒業式予行でしっかり仕上げますので、当日の子どもたちの姿にご期待ください。



学校 HP(練習の様子)を未読の方はこちら ⇒ <https://x.gd/YVaRG> <https://x.gd/8nqGW>

「コーチング」をご存じですか その2

前回に続き、コーチングについてお伝えします。まず、「コーチングに臨むスタンス」です。講話では、「人は皆無限の可能性を持っている」、「必要とする答えは相手の中にある」、「答えに気づくにはパートナーが必要である」という意識で進めていくことを語られました。パートナーとは、「分かろうとしてくれる人」を指します。

コーチングのプロセスは以下ようになります。

- ①観察する(物語として語るための材料を探す)
- ②声かけて共通点を探す(心の距離をコーティングする)
※コーティングとは、後のプロセスがスムーズに進むように関係性を整えることです。
- ③気持ちを聴く(聞くにとどまらず、聴くを心がける)
- ④「ほめる」より「認める」(「ほめる」は評価となる。「認める」は存在によってもたらされた感想を伝えること。)
- ⑤問いかけて、問題を解決する能力を高めるようにする

目指す姿・答えを指導するティーチングではなく、目指す姿・答えを導くための支援であることをふまえてコーチングすることが大切になるようです。

次は、「コーチングのスキルについて」です。

- ①関係性のコーティングとして、**あいさつに『プラス』**(2秒程度の付け加え)する。
例:「おはよう。休みの日はゆっくりできた?」「こんにちは。昨日の~どうだった?」
- ②**「きく」スキル**を高める...ポイントは、自分の関心より相手の関心をきく
聞く:耳で 訊く:口で(尋ねる) 聴く:心で(理解しようと心を傾ける)
- ③**「認める」スキル**を高める...変化、行動、姿勢、存在を認める



鏡に映るように、絵に描けるように具体的に。大きな○でなくてよく、小さな○をたくさんつけてあげる。

<長崎県教育センター公開講座佐藤敬子氏の講演資料より引用>